

TSIホールディングス

# 統合後初の営業黒字

## 円安は生産集約化で対応

TSIホールディングスことによる減収分が38億

円の2014年3～8月 円あったが、トップ10ブ

連結決算は前年同期に比 ランドが好調(8%増)

べ減収増益だった。売上 に推移し、10ブランドで

高866億円(前年同期 35億円の増収となった。

比1・2%減)、営業利益 ブランド別では「ナノ

3億円(前年同期は14億 ・ユニバース」が111

円の損失)、経常利益9億 億円の売上高で17・3%

円(同5000万円の損 の増収。「ナチュラルビュ

失)、純損失5億円(同29 ーティーベーシック」は

億円の損失)。営業黒字は 83億円で0・6%増、「マ

東京スタイルとの統合後 ーカレット・ハウエル」

初めてとなった。(15日付 は60億円で17・2%増、

2面短信既報) 「ローズバッド」は53億円

6～8月期はセールの で15・5%増、「パリー

分散化などで、とくに地 ゲイツ」は39億円で11

方での値引き販売が増え 7%増であった。

だが、売上高はほぼ計画 売上総利益率は前年同

通りとなった。東京スタ 期の51・3%から52・1

イルで5ブランド、サン %に改善。計画の53・1

イー・インターナシヨナ %に届かなかつたが、販

ルで7ブランド撤退した 管費を3・5%圧縮して

黒字転換した。

販路別構成比では百貨

店向けが前年の30・1%

から26・8%に低下。非

百貨店(ファッションビ

ル、駅ビルなど)は46

1%から48・1%にアッ

プ。Eコマースも8・1%

から9・6%に上昇し目

標の10%に近づく。

三宅孝彦取締役は「9、

10月と天候要因が追い風

となり、トレンドの商品

から売れている。下期の

売上高総利益率は53・5

%で計画。リストラムも継

続して当初の通期計画を

達成する」と語る。東京

スタイルも仕入と値引き

を抑え、評価損を少なく

する改革が進んでいる。

同社の売上高総利益率は

39・6%から46・3%にノ作りを集約しスケール

改善した。新規事業・業メリットを出す」考え。通

態開発も進めていく。期では売上高1815億

円安によるコストアッ円、営業利益25億円、経

常利益38億円、純利益5

億円を見込む。

は「プロダクションネ

ットワークを使って、モ